

ことぶき共同診療所だより

第 32 号

2011 年 12 月 12 日 発行

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17 リバーハイツ石川町 1・2F
電話とファックス 045-651-2305(診療所) 045-305-4322(鍼灸院・資料室)

E-Mail info@kyoudouclinic.com

<http://kyoudouclinic.com>

発行：医療法人ことぶき共同診療所

目 次

2011 年も残すところわずか！	鈴木 伸 ②
今年の“大運動会”	岩崎 八千代・加藤 靖・川瀬 由美子・松本 兼児 ⑤
寿町ドヤ街第 7 号を刊行しました	寿町関係資料室 ⑧
やまぼうしを記念植樹ーやまちゃんを記念してー	田中 藤枝 ⑨
寿町地域ニュース・あらかると(’11 年 6 月～11 月)	松本 一郎 ⑩
“診療室から”(28)ー“野菜を食べないという事について”ー	田中 俊夫 ⑪
職員自己紹介	野本 清志・熊倉 陽介・下田 一輝・弓野 綾 ⑫
診療所日誌(’11 年 6 月～11 月)	矢島 雅子 ⑮
共同診療所・鍼灸院ガイド	⑯



2011年も残すところわずか！

【0:はじめに】

東日本大震災、福島原発事故が起こってからはや9ヶ月が立ちました。何とか日常を取り戻しつつありますが、あの体験は今までの私たちの社会のあり方や、個人の生き方に対して多くの問題を突きつけたように思います。その問題に対してあれこれ考えながら、現実では目の前の患者さんに向かい合い、悪戦苦闘する毎日を送っていたら、気が付けば2011年も残すところわずか！となっていました。歳をとるにつれ月日が経つのが、ものすごく早くなったと思う今日このごろです。前置きはさておき、早速下半期を振り返ってみたいと思います。

【1. 新人さん、いらっしゃい

～下田一輝看護師、弓野綾医師登場～】

上半期には2人の職員をおくりだしましたが、「捨てる神あれば、拾う神あり」ということで(別に捨てられた訳ではありませんが)、2人の職員をお迎えす

ることができましたのでご紹介申し上げます。

退職された唯一の男性看護師森さんにかわって、森さんの大親友の下田一輝さんが、6月から診療所に毎週木曜日勤務してくれることになりました。下田さんは、5月に福島の支援に行ったときに初めてお会いし、一緒に支援活動をしたのですが、その時に焼肉をごちそうしたことがきっかけ(?)で当院に勤務してくれることになりました。以前から寿に興味をもっていたということで、実際に越冬などちょくちょくこられていたとのことで、診療所にもすぐに馴染んでバリバリ働いてもらっています。今後もよろしくお願いします。

また、10月からは家庭医の弓野綾先生が勤務してくれることになりました。「家庭医」とは日本ではあまりなじみがない言葉ですが、科にとらわれず、患者さんを総合的に見るというお

医者さんのことです。以前、僕が勤務している病院に研修にこられ、1 ヶ月一緒に働いたことがあったのですが、お世辞ではなく、真面目で優秀なお医者さんという印象がありました。今回、整形外科の大脇先生が偶然ボランティアで行なっていた外国人検診で一緒になり、それがご縁に勤務してくれることになりました(大脇先生ありがとうございます)。今のところ毎週水曜日午前中のみの診察ですが、「診察室へ、どうぞ♥」というアナウンスの音がとてもキュートで、声を聞いただけで、大抵の患者さんは笑顔になってしまうとのことです(診療所スタッフは「弓野マジック」と呼んでいます)。もちろん、診察の方もきっちり丁寧にやっていたいていて、患者さんも満足して帰っていくとのことです。今後もよろしくをお願いします。

【2. 「寿町ドヤ街(15周年記念号)」完成】

寿町ドヤ街7号(15周年記念号)がついに完成して配布しております。詳細は、編集長の松本一郎

さんに譲りますが、ご希望の方はご一報ください。

【3. 震災ボランティアを続けています】

冒頭にも書きましたが、東日本大震災は私たちに忘れることのできない大きな傷を残しました。今だに避難生活を強いられたり、復興に向けて必死に頑張っておられる方々も多いとのことです。そうした方々を少しでも支援したいと当院でもささやかながら支援を継続しております。受付での募金をしており、スタッフの有志が江ノ島の避難所(現在は閉鎖されています)へ訪問したり、東北へ物資を送ったり、医療の支援を続けております。今後も忙しい合間ではありますが、細く長く支援をしていきたいと思えます。

【4. ことぶき共同診療所大運動会】

毎年恒例の大運動会が10月14日に吉浜町公園にて開催されました。年々参加者が増加し、今年は第2, 3アークに加えて第1ア



ルクからの参加もあり、また、日野病院デイケア、寿町診療所デイケア、ことぶき福祉作業所、訪問看護ステーションコスモスの利用者の方々も参加してくださったため、140 名もの「大」運動会となりました。事前の天気予報では雨とのことでしたが、行いの良さで何とか天気も大丈夫で、あめくい競争、玉入れ、車いすレース、綱引きと多彩な競技が開催されました。幸い大きなケガもなく、無事に終了することができました。内容的にも充実させながら来年も開催したいと思います。関係者の方々ご苦労様でした。

**【5. 中川(旧姓新井)さん、
結婚おめでとう！】**

さる 11 月 11 日、当院で長年鍼灸所長を務めていただいている中川(旧姓新井)育子さんがめでたく入籍され、21 日には挙式を行いました。入籍当日はニュースでも報道されていましたが、「1」がゾロゾロ並ぶために役所にはカップルが殺到したそうです。さらに欲張って「11 時」に入籍を狙って並んでいたところ、提出書類をみて、あらびっくり！「11 時 11 分」提出となっていたとのこと。聞くところでは、震災での体験が二人の背中をおしてのゴールインとのこと。幸先のよいスタートとなった中川さん。プライベートが充実したところで、今後も鍼灸院をよろしくお願いします。

(医師 鈴木 伸)

○●○ 今年の“大運動会” ○●○

恒例の診療所主催“大運動会”は、今年もその名に相応しく、多くの町内の関係機関職員さん、利用者さんの参加があり、大盛況でした。今回は、当日の雰囲気やワクワクドキドキ感をいろんな角度から伝えていただければと思います、不老町地域ケアプラザの岩崎さん、第1アルク松影の加藤さん、寿町診療所川瀬さん、ことぶき福祉作業所の松本さんに、当日の感想文をお願いしました。どうもありがとうございます。（編集部）

ことぶき共同診療所大運動会に参加して 不老町地域ケアプラザ 岩崎八千代

小学校や中学校の頃の運動会は1か月も前から、行進や整列、競技の練習をしながら、当日を迎えていました。そして、日頃の練習の成果を、この時とばかり、家族に見てもらえると張り切っていたものです。

運動会の前日は、緊張感と待ち遠しさで興奮していたことを覚えています。

運動会と聞くと、何となく心弾む気分になるのは、そのことを思い出すからかなと思います。

さて、ことぶき共同診療所大運動会が、今年も盛大に吉浜町公園にて開催されました。

張り切って余裕を持って出掛けたつもりが、吉浜町公園に着いたら、職場の同僚が(この同僚は、この時はことぶき共同診療所で実習中でした)心配そうに待っていました。なんと開始時間を30分間、間違えていたようで、ちょっと焦ってしまいました。

デイケアのメンバー、アルクメンバー、ことぶき福祉作業所、ボランティアさん、スタッフが集合し、1時から開始です。開会のあいさつの後、競技に入る前に、ラジオ体操で身体をほぐします。

私の担当は、ラジオ体操です。みなさんが勢ぞろいして、ラジオ体操をしている様子を前から見ていると、爽快な感じです。

そして、競技に入り、まずは、小麦粉の中の飴を探す飴玉ゲームから始まりです。

上手に飴を探し当てる人もいれば、口の周りを真っ白にしなが、中々見つけられない人もいて、周りで応援している私たちは、笑ったり感心したり。

車いす競争では、乗っている人はこれじゃヒヤヒヤしているだろうなあという走り方や競争ということを忘れてたようにゆっくりと押している人もいて、これまた笑いあり。

競技に参加している人は真剣にやっているだろうに、周りは応援で楽しんでます。

今回は、玉入れのところで次の仕事へ。最後まで参加できず、どちらが優勝したのか解らずじまいでしたが、良い天気にも恵まれ、楽しいひと時でした。

来年もまた、参加したいと思っています。

みなさま、お疲れさまでした。

○●○

運動会に参加して

第1アルク松影 加藤 靖

「加藤さん、今回こと共の運動会担当ですから・・・」。この一言から始まった運動会。初めての参加でした。僕は立派なアルコール依存症の患者で、かれこれ十数年のお付き合いをさせていただいていますが、今日は抗酒剤でもなく眠剤でもなく運動会です。

今回は、第一アルク松影の職員としてのお手伝いで、前日に診療所のスタッフの方

との打ち合わせで当日朝の段取りなど話し合い、朝を迎えました。診療所の運動会？ どんなんだろう～？ できるのかな？ そして天気は？ ？？？マークばかりのイメージでしたが、当日は快晴に恵まれて朝から吉浜町公園での準備作業をお手伝いしました。石灰でのライン引きなど、流れる音楽でだんだんその気に……。車いす押し競争や、飴探し競争、玉入れ、綱引きと……。アルクの参加通所者さんが大勢の為に少しだけ診療所チームへ加勢に行きました。それが後の敗因になるとは……。

各デイケアの方に交じりアルクの通所者さんも参加し走ったり押したり、大変賑やかな雰囲気でした。僕は参加したい気持ちと恥ずかしい気持ちが入り乱れてしまい、結局カメラを片手に写真を撮っていました。ここが僕の欠点なのか、参加したければ一緒にやればいいのか……。笑。

でも玉入れの籠担ぎからは恥ずかしさも無くなり本気モードになりました。そして綱引きでは本当に渾身の力を入れて綱をアルクの仲間と思いきり引くことができました。結果は負けてしまいましたが思いきり力を出し切った思いはなんかスッキリ感がありました。

近頃こんなに思いきり力を入れたことがあったかな？ 我を忘れて頑張ったことがあったかな？ アルクの仲間と一緒に引いた綱。今度来年参加する時はもっと自分に正直になって最初から楽しんで参加したいです。

○●○

運動会に参加して

寿町診療所 デイケア 川瀬 由美子

私たちは、共同診療所さんのご近所にある寿町診療所デイケアなごみの里です。3年前に始まり、そのころから『大運動会』のことは診療所に貼ってあるポスターで知っていましたが、今まで日程が合わず残念な思い

をしておりました。今年は、ちょうど私たちのデイケアも実施している日でしたので、当日天気であることを祈りながら参加する日を楽しみにしておりました。願いが通じ、当日はとても良い天気！ メンバーさんを参加賞でつり？！（もちろん競技を楽しみに参加した方多数）わくわくしながら会場に向かいました。会場に近付くと運動会の音楽が聞こえ私たちのやる気も高まりました。はじめは、車いすリレーに参加しダントツの速さで1位になったメンバーさんが早くも私たちのヒーローになりました。そして、次々にヒーロー、ヒロインが生まれ休憩時のおやつも含め、懐かしい競技、みんなで参加しやすい競技が進行されていくのが楽しみでした。参加したメンバーさんの感想は、「楽しかった。」「バナナ美味しかった。」「良いんじゃないですか！」「みんなが協力して、僕たちに向き合ってやってくれる気持ちが嬉しかった。」などです。

さあ！来年も是非メンバーさんみんなが元気に張り切って参加したいものです。

楽しい時間をありがとうございました。私たちの運動会へもよろしかったらいらして下さい(室内でやっています)。

○●○

運動会に参加して

ことぶき福祉作業所 松本 兼児

秋晴れの1日、こと共運動会が開催されました。この日のために作業所の人達が協力して、たすきやのぼりを製作しました。作業所の人達に、色々な競技に参加してもらう為に職員が声かけをしました。本質的に恥ずかしがりな人達が多く、始めは消極的でしたが、いざ、あめ食い競争が始まると、本領を発揮して、鼻が高い人は鼻に、ほほが高い人はほほに粉をつけ、一生懸命走る姿が見られました。見ていておかしい顔でしたが、皆さんは真剣そのものでした。最高に盛り上がったのは綱引きです。皆さん、いつ

も赤組に負けていて、今年こそは、勝つぞといきこんでいました。普段は聞いたこともない声を張り上げ、協力して力いっぱい縄を引いてくれました。双方、力が入り右に左にゆれます。腰をおとしたり、立ち上がったたり、手がしびれたり痛くても、そんな事気にもかけず、懸命に引っ張っていました。途中転ぶ姿も見られ、見ていてハラハラ、ドキドキしま

した。そして、なんと 2 対 1 で10年ぶりに赤組に勝ったのです。奇跡です。皆さんの持っている力は凄いと痛感させられました。これからも、みんなの笑顔のためにも、それぞれの持っている力を引出していけるような作業所にしていきたいと思います。

追伸、作業所マスコット、骸骨マイケル、いつでも写真撮影に応じます。

寿町ドヤ街 第 7 号 (ことぶき共同診療所 15 周年記念号) を刊行しました

このたび、寿町関係資料室は、冊子『寿町ドヤ街』の第 7 号を刊行しました。タイトルにあります通り、2011 年 4 月をもって、ことぶき共同診療所が 15 周年を迎えるにあたり、過去の「ことぶき共同診療所だより」の記事(抜粋とさせていただきます)を再掲しこれ迄を振り返ること、それに加えて、寿町の“文化”に着目することが大きな柱として企画が立ち上がりました。また、これまで長期にわたる寿町年表がなかったので、スタンダードな史実についてのみ巻末に掲載しました。

企画の途中で、山本重則さんがお亡く

なりになりました。やはり本冊子でも「偲ぼう」「山本さんと関係の深い・長い方々に執筆を呼びかけよう」ということになり、山本さんと長年の付き合いのあった多くの方々から、追悼の文章、山本さんとの思い出の写真をいただきました。今でも、診療所の入り口や吉浜町公園で、あの“笑顔”に会えるような気がします。

目次は下記の通りですが、関心のある方はぜひ、診療所までご連絡を下さい。

また、手にとった方はぜひ、感想をお寄せ下さい。お待ちしております。

寿町関係資料室『寿町ドヤ街』第 7 号 目 次

はじめに

I 開設 15 年のあゆみ

- 1 ことぶき共同診療所 15 年の歩み
- 2 「敷居の低い」診療所と「継続性」の両立を目指して

II 診療所だよりから

- 1 診療室から 2 関係機関・研修生・ボランティアの方々から
- 3 夏合宿の感想から
- 4 追悼－忘れえぬ人達－ 5 追悼－山本重則さん(元職員)

III ことぶき町の文化

- 1 “ことぶき町の文化” 2 最近の寿町ドヤ街事情

IV 寿町年表(1955 年～2009 年)

あとがき

(寿町関係資料室)

やまぼうしを記念植樹 ―やまちゃんを記念して―

今年 1 月 28 日亡くなられた山本重則さんのお兄さんが、吉浜町公園と稲子に、彼を記念して木を植えたいと言っておられたのですが、10 月 9 日稲子で、12 日横浜で記念植樹が行われました。

神戸から、ダンボールの箱に入った 2メートルもある木がそれぞれの所に届きました。

10 月 12 日、神戸からお兄さんがお見えになり、吉浜町公園で記念植樹がおこなわれました。選ばれた木は「やまぼうし」。いつも帽子をかぶっていたやまちゃんにちなんだ木の名前。もちろんやまちゃんが好きだった木のひとつで、お兄さんも長倉さんも大好きな木で、初夏に見ごたえのある清そな白い花を木いっぱいにつけます。

長倉さんもかけつけてきて、公園で山ちゃんと一緒に作業をしてきた愛護会のひとたち、診療所の職場の仲間が参加して、大きな穴の中に皆で気持ちをこめて土を入れました。来年の初夏、花をつけてくれるでしょうか。このコンクリートばかりの街にあって土や緑、花いっぱいの公園、すこしでも自然に地域の人々がふれることができるようにと熱心にとりくんでいたやまちゃんの最後の 4 年間がこうして 1 本の木に記念として残され、なんだか公

園の片隅でやまちゃんがずっと見守っていてくれるような気持ちになります。お兄さんには遠い神戸から大きなやまぼうしの木を送ってくださり、遠いところをわざわざ来濱してくださり本当にありがとうございます。

横浜での植樹の前には、9 日に稲子で記念植樹が行われました。

稲子は少し前の台風の被害で一時孤立化するなど大変だったので、お兄さんは遠慮されたのだと思うのですが、稲子にはお見えにならず、ちょうど農作業に行っていた人が数名、現地の佐藤さんたち、急な連絡で来てくれた長倉さんで植樹をしました。長倉さんの手で少しいただいておいた遺骨が掘った穴の中にいれられて、その上に木がおかれて根が埋められました。稲子が大好きだったやまちゃんの思い、お兄さんのやまちゃんへの思い、長い間一緒に稲子で過ごしてきた皆の思いが託されて、しっかり根づいて来年の初夏には白い花をいっぱいにつけてくれることでしょう。

早いもので、もうすぐやまちゃんが逝って 1 年になってしまいます。今も目の前にありありとあの瘦躯と澄んだあたたかみのある瞳が焼きついていて離れません。死は私たちをへだてはしないと今感じて

います。その気配を今もそこここに感じ、あの澄んだ目に黙ってみつめられているような気がして襟を正したくなる時があるのです。公園と稲子に植えられた2本の

木に会う度にやまちゃんを思い、その生き様を思うよすがとなりますように。

(田中 藤枝)

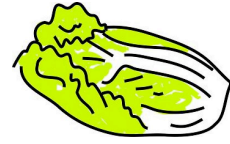
寿町地域ニュース・あらかると (’11年6月～11月)

【生活保護】厚労省は生保利用者の自殺率(2010年)が全国平均の2倍超と発表[7.12]／横浜市が寿町の生保利用者向けに就労支援プログラム開始[10.7]／7月時点の生保利用者が過去最多の205万495人(速報値)となる[11.9厚労省発表]／政府・行政刷新会議が「提言型政策仕分け」で受診時自己負担導入等による制度見直しを提言[11.23]

【法外援護】横浜市が今年度末に法外援護(パン券宿泊券)を廃止する予定であることが分かる[11月]【医療】寿町診療所所長に緒形芳久氏が就任[6月]【簡易宿泊所】第六港館(ミナトビル)(寿町2-8-7、ホテル山栄横)オープン／(仮称)寿町新井ビル(寿町2-7-10、金岡ビル向かい)建築中[以上11月]

(寿町関係資料室 松本 一郎)

“診療室から”(28)



“野菜を食べないという事について”

寿に住んでいる人達が野菜を食べないと言うのは、定説になっていますが、先日 50 人の患者さんに聞きとりをして見て、“本当に、野菜はほとんど食べていないんだ”とびっくりしました。そこで野菜を食べない原因と、その結果について少し考えてみたいと思います。

原因そのⅠは、ほとんどの人がみそ汁を飲んでいないということにある。通常、これ迄の日本の家庭のみそ汁の具である、大根、ネギ、わかめ等がほとんど食事から除外されてしまう。

原因のそのⅡは、生野菜(キャベツ、レタス、キュウリ etc)をマヨネーズやドレッシングをかけて食べるという、最近の食習慣になじんでいない。

原因のⅢとして、漬物をほとんど食べない。従って、白菜、大根等の摂取量が少なくなる。Ⅳとして、大根、にんじん、ごぼう、蓮根等、根菜類の煮物をあまり食べなくなった。

では、何故以上のようなことが起こったかと言えば、寿の大多数の人がコンビニ及びコンビニ類似の店(マルミツ、マルキン等)で一食買いをするからだ。朝食 1 食分、夕食 1 食分だけ買って来て全部食べてしまう。みそ汁、漬物のような、作り置き、買い置きが多いものは排除されがちだ。室内に水場がないので、共同の水場迄行って野菜を洗ったり、刻んだりしなければならず、生野菜は食べにくい。第一、総菜屋では売っていない。ちなみに、部屋に施錠しないでトイレや水場に行くことは、ドヤでは結構危険なことで、わずかな時間の間に泥棒に入られたりする。

野菜をあまり食べないことによる弊害は、主に三つあると思われる。第一に、診療所で 1~2 を争う疾病である慢性便秘症の原因として野菜摂取不足による繊維質の不足があると思う。便秘は、腹部膨満感によって食欲の低下を招くし、痔を悪化させたりする。

第二には、ビタミン不足(特にAとC)をきたしかねない。第三には、偏食によるカリウム摂取不足により、低カリウム血症になっている人がかなりいる可能性がある。そうすると、筋力低下を招き、歩行力が低下する。安い外食店の活用、配達弁当の活用等、食事形式の多様化が必要であろう。

(田中 俊夫)



職員自己紹介



自己紹介

野本 清志

2011年春から、診療をさせて頂いている野本です。大学卒業後、循環器を中心に、内科診療に携わって来ましたが、その経験を生かして、ことぶき共同診療所で、少しでも、お役に立てればと思っています。

診療を始めて、半年くらいが経ちましたが、高血圧といった生活習慣病の患者さんが相当の数、いらっしゃいます。地域の高齢化は進んでいくでしょうから、今後も増えていくと思います。診療、治療の目的は、脳血管障害、虚血性心疾患といった重篤な病気の発症を抑えること、QOLの維持、向上かと思っています。そのために、生活習慣病をコントロールすることが重要になります。

薬の飲み方も含めて、現在の生活の中で、現実には何が出来るのか、患者さん本人はもちろん、診療所のスタッフの方々、介護関係の方々と一緒に考えながら診療をしていけると良いなあとと思っています。

宜しく御願い致します。



自己紹介

熊倉 陽介

2011年5月から外来を担当させて頂いております、熊倉陽介と申します。北海道大学を卒業後、大船駅の近くにある湘南鎌倉総合病院で内科や救急を中心に研修しました。現在は東京都立多摩総合医療センターの精神科に所属しながら、週1日木曜日に寿町で外来をさせて頂いております。

救急車を絶対に断らない湘南鎌倉総合病院の救急には、横浜や川崎からもはるばる患者さんが運ばれます。大都市横浜の多数の病院に断られ、たらい回しにされて、具合が悪い中、長い道のりを患者さんは運ばれてきます。その中には精神疾患を持った方が多く、寿町からはるばる運ばれてきた方々もたくさんいました。

その人が精神疾患を持っているのに関わらず、そして社会経済的背景がどうであれ、標準的な医療へのアクセスが確保されること。そういうことを考えていた時に、この診療所の存在を知り、働かせて頂けることになりました。

専門分化された医療の狭間で、「どこにかかっていいかわからない」「そんなにたく

さんの病院に通うのは難しい」「眼も耳も胸もお腹も足も悪いのに、病院に行ったら右眼しかみてもらえなかった」ということにならないように、「精神も胸もお腹も足も眼も耳も、風邪もケガも、血圧も糖尿もコレステロールも、来てくれたらとりあえず全部診ます」という気持ちで外来をやっています。こちらの勉強不足、実力不足の面もありますが、一人の医師の実力ではみきれない方もたくさんいます。そんな時には近隣の適切な専門医にきちんとかけられるようにご紹介させていただきます。一人の医師にできることは多くないですが、敷居の低い外来で、適切な医療を受けるための窓口的な働きができたかと考えています。

寿町だから何か特別なことが必要だとは思いませんが、こういう地域で医者をする以上、よりいっそう、標準的な医療をきちんと患者さんに提供できるように心がけなければと感じています。

今後ともよろしくお願いします。



自己紹介

下田 一輝

はじめまして。今回診療所に勤めることになりました下田と申します。寿には、退職された森さんの友人として、越冬の時にはほぼ毎年参加させて頂いていました。10年ほど経ちますでしょうか？ 私は看護師

としてまだまだ駆け出しで、当時はたいへんでした。そんな時のボランティアでしたが、そこでの活動は、なにかこう、心の隙間を埋めてもらっているような感覚で、逆に勇気をもらって帰って行ったというのが正直なところでしたね。

そして、その間に4人の子どもをこしらえて、今年5月。診療所の鈴木先生、土屋先生、守屋看護師さんと被災地に行きました。その活動が楽しかったこと。こういうのもなんですが、結構軽いのりでしっかり仕事をする方たちだなあと……。そののりそのまま来てしまいました。本当にすいません。それしか言えませんね。

週一での仕事ですが、めいいっぱい頑張りますので何卒よろしく御願い致します。



自己紹介

弓野 綾

みなさんこんにちは。今年10月から毎週水曜午前の診察を担当している弓野です。ことぶきでは内科医として診察させていただいています。家庭医といって、科に関係なくまずは何でも気軽に相談に乗る医師を目指しているので、お困りのことがあればまずはご相談ください。

ことぶき共同診療所の存在を知ったのは5年前、神奈川病院で研修していた同

期が鈴木先生に連れられてことぶき共同診療所に行った話を聞いてからでした。その時、寿町や田中先生の人となりにとっても興味を持ちましたが、尋ねる機会がなく5年が過ぎました。その間に、路上生活者健康相談会や在日外国人健康相談会で土屋先生や大脇先生に出会い、誘っていただいたので、5年越しの縁が実って、ことぶきで働く機会をいただきました。

実際にきてみたことぶき共同診療所は想像通りとてもアットホームで居心地がい

いです。患者さんたちの中には「遊びに来たよ」といって薬と診察にくる人もいます。いつも近くにあって、かかりやすい診療所って大事ななあ・・・と思います。ことぶき共同診療所は、寿町という大きなマンションの専属医みたいですね。ときどき病気で入院したり、診療所に来れなくなった人が出ると悲しいですが、元気にDOTSに来られている人達に会うとほっとします。これからでもできるだけ細く長く続けようと思っているので、よろしくお願いします。



診療所日誌 ‘11年6月～11月

6 月 江ノ島のかながわ女性センターへ被災者ボランティアに行ってます。

- 6 月 11 日 日本赤十字九州国際大学の看護学生さん見学に見える
 6 月 16 日 福島県相馬市被災地ボランティア報告会
 6 月 21 日 デイケア T さん、飲酒やたかられなどにより生活が乱れ、立て直しも含めワシン坂病院に入院。この日は患者数 242 人、混んでいました。
 6 月 27 日 認知症もある Y さん、内科病院退院後行方不明になる。翌々日発見され、精神科へ入院。

7 月 例年より早く暑さが始まりました。熱中症の方も一足早くやってきました。

- 7 月 6 日 10 年来通院されていた N さん、お部屋で亡くなられる
 7 月 7 日 セタです。今年も笹を飾ってお願いごとを書きました。
 7 月 8 日 「ことぶき共同診療所だより 31 号」完成
 7 月 14 日～ Dr. 土屋、気仙沼へ被災地ボランティアへ
 7 月 21 日 看護師下田さん、毎週木曜日勤務開始。

8 月 内科・精神科共に入院の多い夏でした。

- 8 月 5 日 明治学院大の学生さん見学。次の日から稲子へも参加。
 8 月 6 日～7 日 デイケア、稲子へ。川遊びとバーベキュー。

9 月 デイケアメンバーさん、作業所へ移行しています。

- 9 月 17 日～18 日 デイケア、稲刈りへ。雨の影響で稲子川は濁流でした。
 9 月 17 日 洗面台の工事。洗髪ができるようになりました。Dr. 野本、山友会に送った「だより」がきっかけで 10 年ぶりに友人から連絡が来る。
 9 月 21 日 台風接近のため、16:00 で閉める。稲子は、川が氾濫し、橋が落ちて道路が寸断し孤立。電気も止まる。
 9 月 24 日 尼崎でも診療をしている Dr. 三橋。電話で診療相談。
 9 月 25 日 職員川崎さん、稲子に陣中見舞いへ
 9 月 29 日 てんぷら祭り
 9 月 30 日 神奈川病院より、デイケアスタッフ、O T さんなど 6 名見学に見える

10 月 Dr. 熊倉、新患さん増加中。

- 10 月 4 日 腰痛で大騒ぎをしていた E さん、説得に応じやっとのことで日野病院に入院
 10 月 5 日 Dr. 弓野、毎週水曜日午前中、勤務開始(家庭医)
 10 月 6 日 幻聴体験の勉強会。一同沈黙。
 10 月 8 日 患者 I さん、退院後はほぼ寝たきりだが、ヘルパーさんの手厚い介護により在宅継続へ
 10 月 11 日 PSW の実習生大塚さん、本日より実習開始。デイケア K さん、転倒打撲を繰り返し、顔の形が変わるほど。1 ヶ月に渡る説得に応じ、入院となる。町にはもう戻ってこない方針で。寿が長かった患者さんがまた 1 人いなくなりました。
 10 月 12 日 ワシン坂病院に入院中のデイケアメンバー T さんのお見舞いへ。職員故山本重則さんの記念植樹。吉浜町公園に「山ぼうし」を植える。
 10 月 14 日 第 10 回ことぶき共同診療所大運動会。寿アルク、日野病院デイケア、寿町診療所デイケア、ことぶき福祉作業所の方々など参加してくれました。
 10 月 20 日 寿町ドヤ街 7 号完成
 10 月 21 日 30～40 年位前の寿生活館時代の写真などが寿福祉プラザから発見され、Dr. 田中と当時の話をする
 みなと赤十字病院精神科の看護師さん、4 名見学に見える
 10 月 28 日 神奈川病院から 14 名見学に見える

11 月 吉浜町公園は今日も美しいです。

- 11 月 4 日 服薬治療拒否の M さん、民間救急で日野病院に入院となる
 11 月 9 日～11 日 Dr. 熊倉、心のケアチームで陸前高田へ
 11 月 10 日 Dr. 土屋の計らいで気仙沼よりさんま 30 本届く
 11 月 12 日～13 日 職員旅行(於：箱根湯元温泉)
 11 月 18 日 吉浜町公園愛護会、中区から「区長奨励賞」とシクラメンをもらう
 11 月 29 日 てんぷら祭り。患者 H さん、泥棒が入るからと部屋を出られず、往診へ。以後 4 日往診し、入院へつなぐ。
 11 月 30 日 認知症状のある I さん、状態不変だが内科病院 5 日間で退院となる

(矢島 雅子)

医療法人 ことぶき共同診療所・鍼灸院ガイド

◇診療科目 精神科 神経科 心療内科
内科 整形外科 鍼灸
診療所

	9時30分	12時	14時	17時
月	休 診			
火	鈴木伸・菊田・宮崎	屋 休 み	鈴木伸・菊田・宮崎	精神科・神経科・内科
水	菊田・土屋・弓野		田中・菊田・土屋	精神科・神経科・心療内科・内科
木	鈴木伸・大脇・土屋・熊倉		鈴木伸・大脇・土屋・熊倉	精神科・神経科・心療内科・内科 整形外科
金	田中・鈴木伸・土屋		田中・土屋	精神科・神経科・心療内科・内科
土	鈴木伸・土屋・三橋			

鈴木美奈子(エコー検査)隔週木曜午前

三橋(整形外科)月1回土曜午前、野本(循環器科)月1回土曜午前

鍼灸院

(鍼灸院は予約制のため、お電話等で確認の上、ご来院ください)

	9時45分	13時	14時	18時
火	新 井	屋 休 み	新 井	
水	新井・富永		新井・富永	
木	新井・佐藤		新井・佐藤	
金	新井・佐藤		新井・佐藤	

○保険扱い

国民健康保険 各種社会保険 生活保護 障害者自立支援法(その他、医療福祉相談も受け付けています)

○心理判定

○寿町関係資料室

寿町にまつわる資料収集、調査研究を行う「資料室」を併設しています。

◇共同診療所・鍼灸院の所在地

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17
リバーハイツ石川町 1・2F

◇でんわとファックス

(045) 651-2305 (診療所)

(045) 305-4322 (鍼灸院)

◇e-mail info@kyoudouclinic.com

◇ホームページ

<http://kyoudouclinic.com>

2011年12月12日現在